

Theoretical model analysis of deuteron-induced reactions and development of an integrated code system for cross section evaluation

中山, 梓介

<https://doi.org/10.15017/1500764>

出版情報：九州大学, 2014, 博士（工学）, 課程博士
バージョン：
権利関係：全文ファイル公表済

氏名	中山 梓介		
論文名	Theoretical model analysis of deuteron-induced reactions and development of an integrated code system for cross section evaluation (重陽子入射反応の理論モデル解析と断面積評価用統合コードシステムの開発)		
論文調査委員	主査	九州大学	教授 渡辺 幸信
	副査	九州大学	教授 深田 智
	副査	九州大学大学院理学研究院	教授 八尋 正信

論文審査の結果の要旨

本論文は、重陽子加速器中性子源の設計に必要となる重陽子核反応の核データ評価用統合計算コードシステムを新規開発し、広範な入射エネルギーに亘る陽子放出反応データの系統的解析に適用することで基底状態遷移に対する分光学的因子の入射エネルギー依存性を明らかにし、使用した理論モデルの適用可能性を検証したものであり、放射線・原子核工学の発展に寄与するところが大きい。よって、本論文は博士（工学）の学位論文に値すると認める。